

2016年12月の講演I部セミナーのお知らせ

日本テクニカルアナリスト協会
講演I部

平素よりお世話になっております。

2016年12月15日(木)、マスコミ等でお馴染みのみずほ証券の三浦豊氏(CFTE)を講師としてお迎えし、日経平均株価、TOPIX、ダウ平均、ドル円などを中心にお話頂く予定です。1) NYダウはレーガン氏当選後の動きと似ている、2) 17年は日経平均、ドル円、NYダウの連動性は高い、3) 17年は5月頃に年間高値10月頃に年間安値形成へ、4) 日経平均、NYダウ、ドル円の高値安値年末値は・・・など、非常に興味深い内容となっております。

テクニカル分析の研鑽を積む機会であると同時に、講師への質問や名刺交換をされたい方、参加者同士のネットワーク作りなどのよい機会になることと思います。個人投資家や機関投資家をはじめ、営業関係に携わる金融マンの方など、多数のご参加をお待ちしております。なお、資料準備等のため、参加ご希望の方は事前に当協会事務局までお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

会員の方でご参加頂く場合は、「会員証」を会場へご持参ください。第1次通信教育講座【冬期】受講生は「セミナー参加無料」ハガキをご持参ください。

日時：平成28年11月25日 18:30~20:00

テーマ：『2017年トランプ政権下のテクニカル需給の注目点』

講師：三浦 豊氏

みずほ証券株式会社

エクイティ調査部 シニアテクニカルアナリスト

会場：東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル4階
(東京証券取引所の西隣、NTAA事務局のビル)

会費： 会員・通信講座受講生：無料
非会員：3,000円



講師プロフィール： 三浦 豊 氏 (みうら ゆたか)

1984年、新日本証券(現みずほ証券)入社。入社当初から株式業務に従事。1993年より20年以上にわたり一貫してテクニカルアナリストとして従事している。内外株式市場だけではなく、為替、商品など多岐にわたる分野を対象にし、チャート分析だけではなく需給動向やデリバティブも取り入れて分析。チャート分析においては常に複数のツールを使う様に心掛けているほか、過去の相場のパターンも参考にしている。30年を超える相場の経験を投資家の皆様に伝えることができたかと日々考えている。日経新聞、ロイター、Bloomberg、QUICK、テレビ東京(モーニングサテライト、日経プラス10)、日経CNBCなどの多くのメディアにもコメントや出演している。著書「日本テクニカル分析大全」(共著、日本テクニカルアナリスト協会編)。2016年日経ヴェリタスランキング、市場分析部門第2位。

